

「メール自動受信」と「DM スケジューラ」のタスク スケジューラ起動設定

「メール自動受信」は、アプリケーションサーバーから定期的に desknet's CAMS のデータをチェックし、メールの自動受信を実行するための常駐サービス、

「DM スケジューラ」は、DM 発送を実行するための常駐サービスです。

- 各サービスが既に起動している状態で、さらにサービスを起動した場合、先に起動していたサービスは自動的に終了し、後から起動されたサービスのみが動作します。
- データベースへの接続に失敗すると、サービスは自動的に終了します。サーバーメンテナンスを行う際は注意してください。

本書では、各サービスを毎朝 7:00 に自動起動するよう構成する手順について説明します。システムの運用形態(バックアップするタイミングやサーバーメンテナンスの頻度など)に応じ、起動する頻度やタイミングなどを調整してください。

Windows Server 2016/2019/2022 環境への導入

Windows Server 用のモジュール、起動用のバッチファイルは、アプリケーションサーバー上の desknet' s CAMS インストールディレクトリ(※)に配置されています。

※例: C:\inetpub\scripts\cams

- ・「メール自動受信」
モジュール(cmsemlauto.exe)
起動用のバッチファイル(cmsemlauto.bat)

- ・「DM スケジューラー」
モジュール(cmsscheduler.exe)
起動用のバッチファイル(cmsscheduler.bat)

以下の手順で、バッチファイルの修正と、起動タスクの登録を行います。

- (1) アプリケーションサーバーのローカル Administrators 権限を持ったユーザーで、アプリケーションサーバーにログインします。

- (2) Windows エクスプローラーで desknet' s CAMS インストールディレクトリを開き、テキストエディタで cmsemlauto.bat および cmsscheduler.bat を開き、必要に応じて desknet' s CAMS インストールディレクトリのパスやチェック間隔を修正します。

例: メール自動受信(cmsemlauto.bat)の修正例

```
C:\inetpub\scripts\cams\cmsemlauto.exe -h C:\inetpub\scripts\cams←
```

- cmsemlauto.exe : メール自動受信モジュールのフルパス
- 引数 1 : 「-h」 ※固定
- 引数 2 : desknet' s CAMS インストールディレクトリのパス

例: DM スケジューラー(cmsscheduler.bat)の修正例

```
"C:\inetpub\scripts\cams\cmsscheduler.exe" "C:\inetpub\scripts\cams" 10←
```

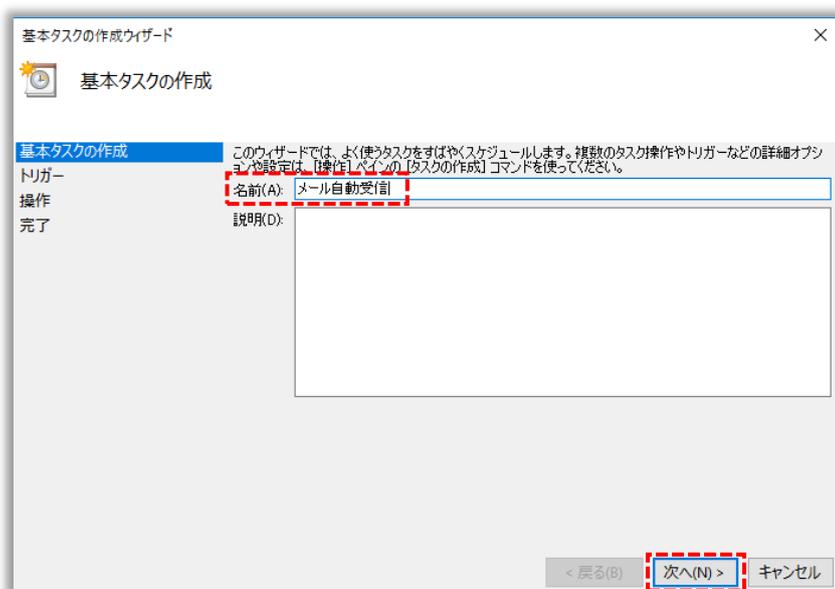
- cmsscheduler.exe : DM スケジューラーモジュールのフルパス
- 引数 1 : desknet' s CAMS インストールディレクトリのパス
- 引数 2 : 「10」 ※固定、起動間隔(分)

(3) スタートメニューから管理ツールの「タスク スケジューラ」を開き、操作ウィンドウから「基本タスクの作成」をクリックします。

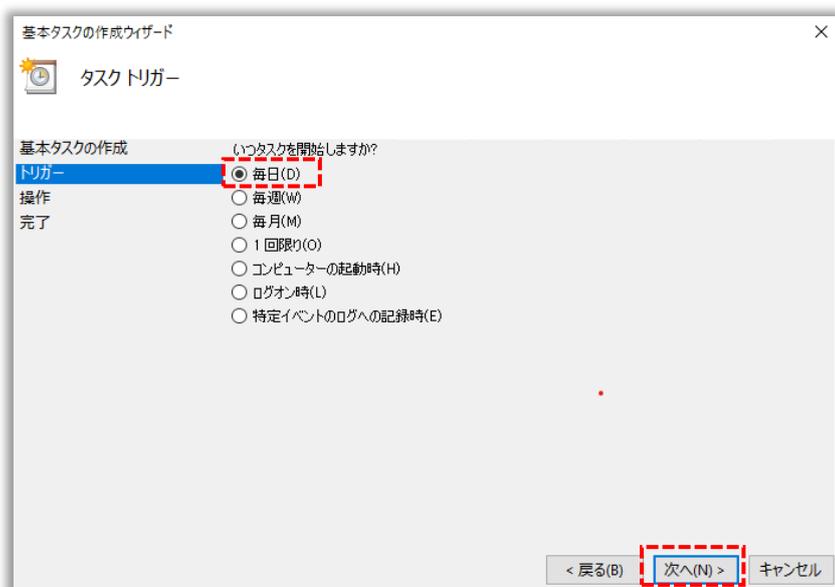
※「メール自動受信」用と「DM スケジューラ」用の各々のタスクを作成いただく必要があります。(4)以降の画面では「メール自動受信」用を例とした設定を掲載します。

(4) 名前に「メール自動受信」と入力し、「次へ」をクリックします。

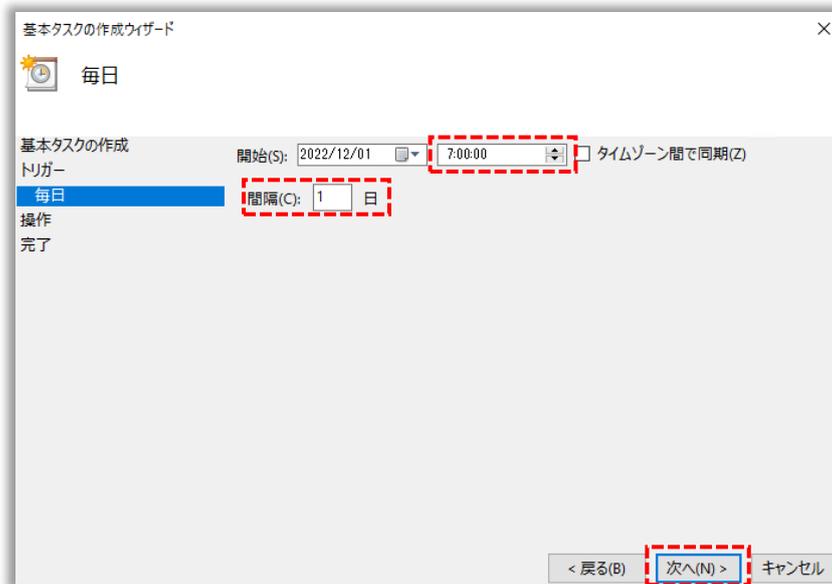
※「DM スケジューラ」の場合は「DM スケジューラ」を入力。



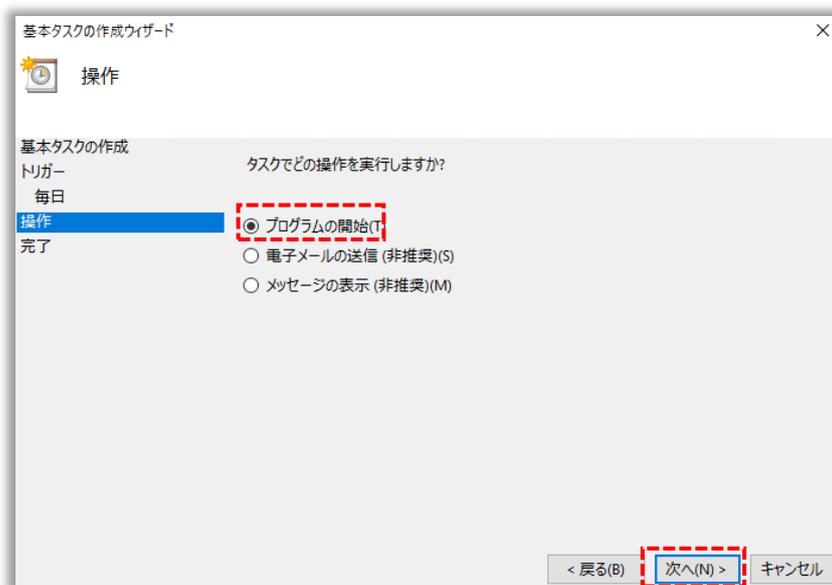
(5) 「毎日」を選択し、「次へ」をクリックします。



(6) 開始を翌日の「7:00」に、また間隔を「1」日にそれぞれ設定し、「次へ」をクリックします。

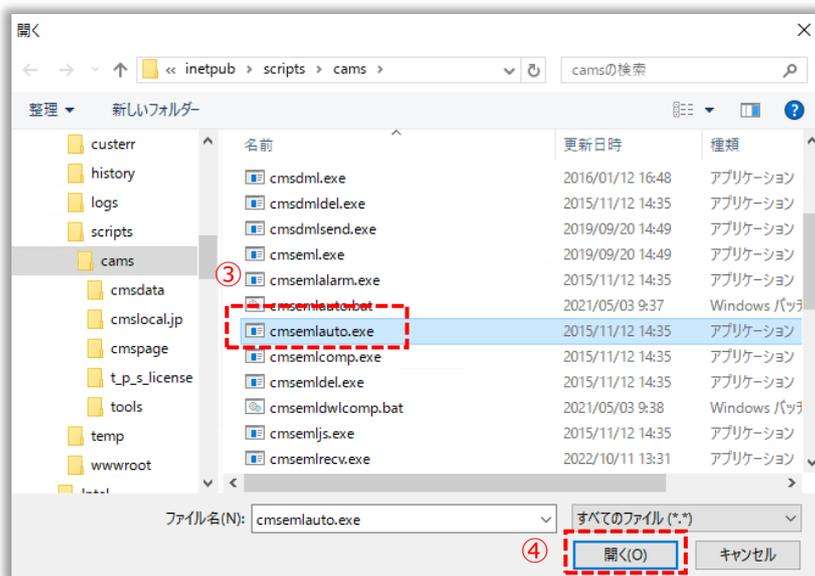
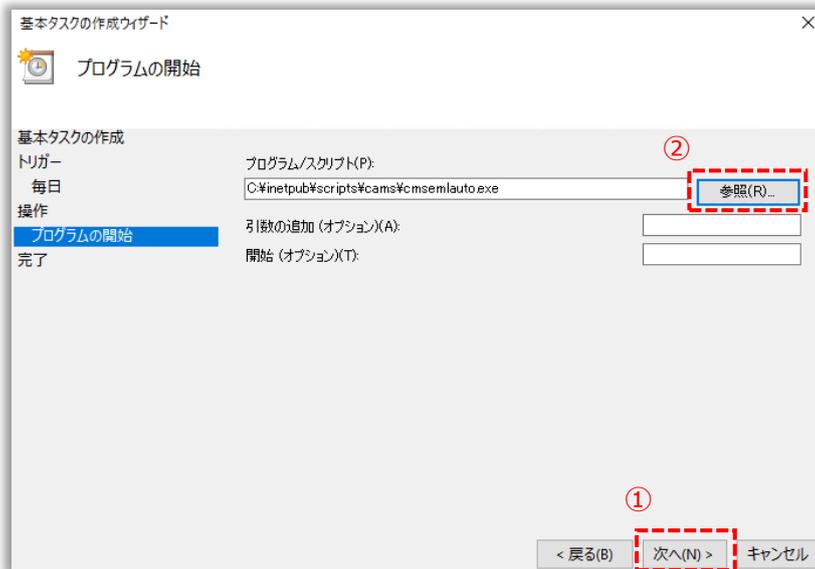


(7) 「プログラムの開始」を選択し、「次へ」をクリックします。



- (8) 「参照」をクリックし、desknet's CAMS インストールディレクトリの「cmsemlauto.bat」を選択して「開く」をクリックします。(cmsemlauto.exe と間違えないよう注意してください。種類が「Windows バッチファイル」となっているものが「cmsemlauto.bat」になります)

※「DM スケジューラー」の場合は「cmsscheduler.bat」を選択。



「[完了]をクリックしたときに、このタスクの[プロパティ]ダイアログを開く」のチェックをONにし、
「完了」をクリックします。

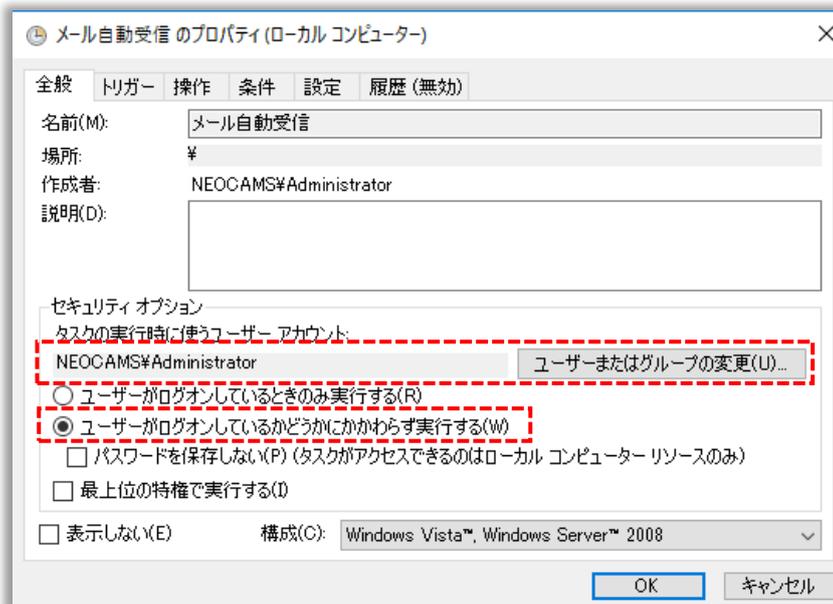
The image shows a screenshot of the 'Basic Task Wizard' dialog box in Windows, specifically the 'Summary' (要約) step. The window title is '基本タスクの作成ウィザード'. On the left, there is a navigation pane with options: '要約', '基本タスクの作成', 'トリガー', '毎日', '操作', 'プログラムの開始', and '完了'. The '完了' option is highlighted in blue. The main area contains the following information:

- 名前: メール自動受信
- 説明: (Empty text box)
- トリガー: 毎日; 毎日 7:00 に起動
- 操作: プログラムの開始; C:\inetpub\scripts\cams\cmsemlauto.exe

At the bottom, there is a checkbox labeled '完了] をクリックしたときに、このタスクの [プロパティ] ダイアログを開く' which is checked. Below it is a smaller line of text: '完了] をクリックしたときに、新しいタスクが作成され、Windows スタジューンルに追加されます。'. At the bottom right, there are three buttons: '< 戻る(B)', '完了(F)', and 'キャンセル'. The '完了(F)' button is highlighted with a red dashed box.

(9) 「ユーザーがログオンしているかどうかにかかわらず実行する」のチェックを ON にし、「ユーザーまたはグループの変更」からデータ/ファイルフォルダへのアクセス権限を持ったユーザー（以下の例を参照）のユーザー名を指定します。

- アプリケーションサーバーのローカルディスク上にデータ/ファイルフォルダを配置している場合：ローカル Administrators 権限を持ったユーザー

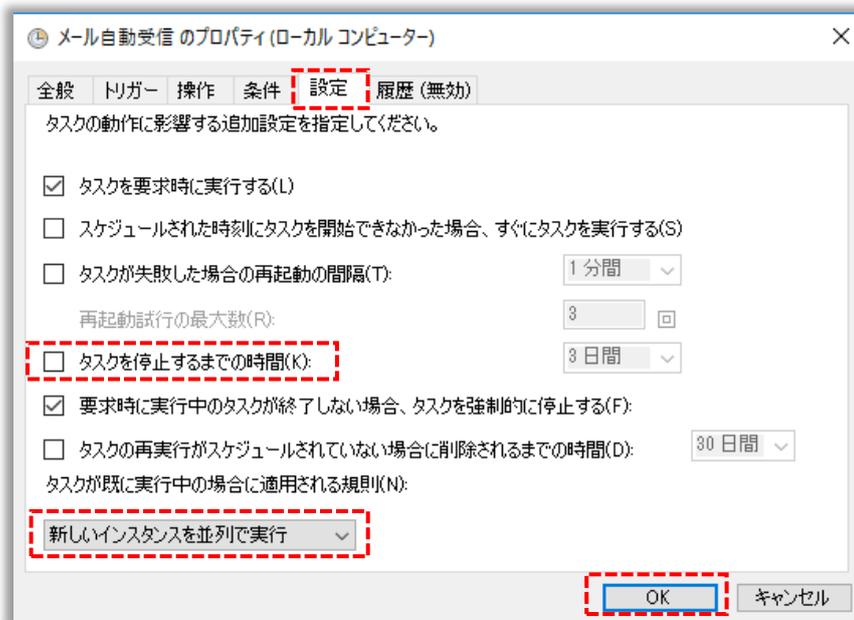


続けて「設定」タブをクリックします。



(10) 「タスクを停止するまでの時間」のチェックボックスを OFF、「タスクが既に実行中の場合に適用される規則」を「新しいインスタンスを並列で実行」に設定し、「OK」をクリックします。

※「OK」クリック時に Administrators 権限を持ったユーザーのパスワード入力を求められますので入力をお願いいたします。



以上で、「メール自動受信」のタスク登録は完了です。

続けて「DM スケジューラ」も(4)～(10)の手順で登録をお願いいたします。

- 手動で「メール自動受信」および「DM スケジューラ」を起動する場合は、タスク スケジューラの画面左のツリーから「タスクスケジューラライブラリ」をクリックし、「メール自動受信」および「DM スケジューラ」を右クリックしてメニューから「実行する」を選択します。
- 「メール自動受信」および「DM スケジューラ」の起動状態は、Windows タスクマネージャーのプロセス一覧か、コマンドプロンプトから「tasklist」コマンドを実行することで確認できます。
※「cmsemlauto.exe」および「cmsscheduler.exe」が起動していることをご確認ください。
- さらに細かい間隔で起動を行う場合や、その他の起動オプションを指定する場合は、登録されたタスク「メール自動受信」および「DM スケジューラ」のプロパティを開き、「トリガ」タブからトリガの編集を行います。

注意事項
短い間隔で「メール自動受信」および「DM スケジューラ」のタスクを起動する場合、前回起動から1時間は間を空けるよう設定してください。

以上